

臨床実践能力評価表・レベルⅡ（一人前）			氏名	評価者	
目標	内視鏡検査・治療に伴う個別的な看護を自立して実践できる		年 月 日	年 月 日	
	項目(37)		自己評価	上司評価	
看護実践能力	知識	理論的知識	①ハイタルサイン・検査データの正常値が分かり内視鏡検査に活用できる	4 3 2 1	4 3 2 1
		②疾病特有の病態が理解できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		④身体的・心理的側面の知識が活用できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
	知識	実践的知識	①以前経験した事例が応用できる	4 3 2 1	4 3 2 1
		②状況が知識と関連づけられ観察のポイントが明確になる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		③収集したデータを実践の場で活用できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
	判断	判断	①多方面から状況把握ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
			②類似した状況や予測していなかった出来事にはスピードや柔軟性に欠けるが経験に基づいて判断し対応できる	4 3 2 1	4 3 2 1
			③対象の身体的側面にとどまらず心理的・社会的側面にも着目し、捉えることができる	4 3 2 1	4 3 2 1
			④対象との心理的距離が縮まり対象に共感し寄り添うことができる	4 3 2 1	4 3 2 1
			⑤対象の言動に影響されず、言動をおこした原因を分析することができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	行為	行為	①対象の反応からニーズを把握し、行動できる	4 3 2 1	4 3 2 1
			②経験の中から選択できる行為をいくつか持っておりその中から選択できる	4 3 2 1	4 3 2 1
			③判断したことが行動に移せる	4 3 2 1	4 3 2 1
			④融通性やスピードには欠けるが経験の中から偶発的な出来事に対応できる	4 3 2 1	4 3 2 1
⑤対象者や部署内において良好なコミュニケーションがとれる			4 3 2 1	4 3 2 1	
マネージメント能力	マネージメント能力	①内視鏡室の特殊性・業務内容を理解した行動がとれる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		②内視鏡室の目的・目標を理解し達成のための活動に積極的に参加できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		③内視鏡室の環境・物品管理に配慮し行動できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		④日常の業務の中で経済的側面に配慮した行動がとれる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		⑤日々の看護においてリーダーシップが発揮できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		⑥緊急時の判断ができ、報告・相談しながら対処できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
人間関係調整能力	人間関係調整能力	①患者・家族の意向を正確に把握できる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		②患者・家族の希望や意思を尊重した対応ができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
		③医療チームの中で自分の意見が言え、積極的なコミュニケーションができる	4 3 2 1	4 3 2 1	
教育・研究能力	自己	自己	①自己の学習ニーズを明確にし目標を設定して学習できる	4 3 2 1	4 3 2 1
			②院内教育に積極的に参加できる	4 3 2 1	4 3 2 1
			③専門分野において患者ケアに応用できる文献学習ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	他者	他者	①経験未熟なスタッフに対して必要な知識と技術の指導ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
			②指導の結果を評価できる	4 3 2 1	4 3 2 1
			③各看護単位の学習ニーズを理解しそれを満たすための院内外の研修に自主的に参加できる	4 3 2 1	4 3 2 1
	患者	患者	①対象のレディネスをアセスメントし、相手に合わせた個別的な指導・教育ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
			②所属する学会活動に自主的に参加し、学んだことを臨床に生かせる	4 3 2 1	4 3 2 1
総合評価(%)			合計 点	合計 点	